

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 中西祥之SAA委員 ◆四つのテスト 嶽本幸次さん ◆ご来訪ロータリアン

◆会長挨拶 山田孝二会長



皆様こんにちは。今日はスポーツでも登山競技についてお話ししたいと思います。私は高校生時代、登山部に入っていました。みんなから、登山部って何を競うの？と何度も聞かれた記憶がありますので、今日はその辺のお話しをしたいと思います。まず、登山競技は4人1チームで行います。100点満点で減点方式です。記憶ベースでお話しますが、我々の高校時代は、まず体力が50点(決められたコースを決められた重量を背負って4人でゴールしたタイム)。その他は、幕営10点(4人でテントを設営する正確性や素早さ)。天気図10点(ラジオから流れてくる各地の気圧を記入して行って等圧線を引いて各地の天気の状態を予想する)。読図10点(決められたコースの中にポイントがありその地点がゴールから見るとどの方角なのか？などの地図を読み解く)計画書10点(登るのに必要な装備、行程、その土地に生息する植物や動物についての計画書)チームワーク10点(登っている途中で審査員みたいな人がいて4人が離れすぎているか、声を掛けながら登っているかなど)です。体力以外で差がつくのは天気図くらいです。よって我々の高校時代はほぼ体力で優劣が決まっていました。少し気になって現在の競技の点数配分を調べてみました。非常に細かくなっていて①体力30点②歩行技術10点③装備10点④設営・撤収10点⑤炊事5点⑥気象7点⑦自然観察8点⑧記録・計画10点⑨救急5点⑩マナー5点とのことでした。私は高校の時、インターハイや国体に出るような選手ではなく、楽しみながら部活をやっていました。合宿では、阿蘇、背振、九重、屋久島などに行きました。一番思い出に残っているのが、屋久島です。九州で一番高い山である宮之浦岳には3月末の春合宿で行ったのですが、山頂は膝くらいまで雪が残っており2日かけて一番下から宿泊しながら登ったのを覚えています。高校卒業してから30年ほど全く山登りとは縁がなかったのですが、

5年程前から突然目覚めましたので、近い将来また屋久島に行ってみたいと思っています。本日の卓話は 一般社団法人 ひとり親家庭福祉会ながさき 事務局長 山本 倫子さんより「子どもの夢をかなえる学びの居場所」というお話をさせていただきます。後程宜しく願いいたします。

◆幹事報告 尾本久男幹事

- ①例会変更並びに例会休会の件
- 【変更】長崎南RC 5/22(水)→5/24(金)長崎出島RCとの合同例会のため 18時30分～ ホテルニュー長崎
- 【休会】長崎南RC 5/1(水)・長崎西RC4/30(火)
- 長崎みなとRC5/7(火) 定款第7条第1節により休会
- ②5月よりクールビス例会スタート

◆委員会報告

- 出席委員会(水本委員長) 全員出席例会のご案内 5/14(火)の例会を全員出席例会といたします。毎月の修正出席率も75%位で推移してます。お忙しいとは存じますが、御出席の程、よろしく願いいたします。
- 青少年委員会(嶽本委員長) RYLA意見交換会報告 4/21(日)シーハット大村において、RYLA意見交換会が開催され、亀山電機さんの新入社員の方2名と参加してまいりました。今まではRYLAのホストクラブは輪番制でしたが、前年度から地区主体のRYLAとなり、今年度は、6/8、9日に開催され、そのプログラム内容を参加者とディスカッションしました。



◆結婚・誕生・入会祝い 4/21~4/30

【結婚祝】柳龍一郎さん



◆期首会員数	36名	◆入会者	1名	◆退会者	1名	◆現在	36名
◆4/23例会出席	20名	◆免除者出席	7名	◆欠席	16名	◆出席率	60.61%

地区補助金プロジェクト卓話

一般社団法人 ひとり親家庭福祉会ながさき
 事務局長 山本倫子さん
 「子どもの夢をかなえる学びの居場所」



◆ハイライトよねやま 289号

恩返しのボランティア活動

2月23日、関東在住で新疆ウイグル自治区出身の米山学友、イスカダラルアブドバリさん(2017-18/川越RC)、スライマン アボレケモさん(2019-20/坂戸RC)、スマイルジャン エメットさん(2017-19/金沢RC)、アハット アブリズさん(2017-19/久留米東RC)を含む20人のグループが石川県の七尾市と羽咋郡志賀町にてボランティア活動を行いました。当日は2つのグループに分かれ、一組は羽咋郡志賀町でウイグル料理のポロヤスープ 250人分の提供、もう一組は七尾市の被災現場で復旧作業を行いました。現地では、他のボランティア参加者と協力しながら作業を行い、被災した方々からは感謝の言葉をたくさんもらったそうです。なお、共にボランティアに参加した20人全員が日本で仕事をしており、これまでの恩を少しでも返すことができれば、という思いで参加したそうです。アブドバリさんは、アボレケモさん、エメットさん、アブリズさんと共に「NPO法人JUアカデミー基金」を設立し、理事長を務めています。優秀な日本在住のウイグル出身留学生および中央アジアからの私費留学生へ、奨学金の支給や学習サポートを行っており、これまでに16人を支援。また、経済的支援が必要な日本人小学生にも奨学金を付与することを決定し、今後実施していく予定とのことです。

創立40周年実行委員会報告

北口功幸 40周年事務局長

1:記念事業・余興・祝賀会の予算の件
 <記念事業・寄付について> ・対象団体:海星学園、マリア園、長崎ペンギンの会は1団体30万円(税込)で割り振る・長崎ペンギンの会を除く2団体には、記念事業部会が連絡し、記念品の希望を聞き取る。ペンギンは寄付金。海星学園については、インターアクト委員長も同行する予定
 <余興について> ・検番 記念式典部会の古里副部長から出演料について聞き取りを行う・かわち家 記念式典部会の山田孝二会長から出演料について聞き取り済み。→3人の場合11万円(税込) ・ハミングバズ 平山実行委員長に依頼する→いずれも出演料とこちらの規模を伝達。見積を貰う流れ。予算確定へ <祝賀会について> ・古里副部長を通して、会場のホテルニュー長崎から見積書を頂く。→220万円余(100名を想定。飲食・お花・看板・集合写真・スナップ写真など)このうち集合写真については、式典後、懇親会前の間にクラブメンバーのみで撮影する方向。前例を見直し予算カットできるものは実施し、他項目に充当する <日程について> ・10月11日(金) 記念式典開会17:30~祝賀会18:30-20:30で確定
 <来賓並びに招待者検討について> ・30周年を参考に、官公庁、地区本部、友好クラブ、第2740地区9.10グループ、退会会長・幹事、インターアクト指定校、寄贈先など53名をリストアップ(会員一同、会員夫人等は除く) 異議なしで7月発送準備を目指す <タイムスケジュール> ・藤沢南RCへの訪問時期について、島崎会員のスケジュールを重視し、早めに確定させる。7月初旬訪問を目指す。
 <記念誌について> ・納品時期について、前回同様、翌年1月で了承。

◆ニコニコ箱

- 山田孝二さん 山本さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。
- 柳龍一郎さん 結婚記念日のお花が昨日届きました。記念日当日でしたので、家内の機嫌もよく楽しく晩酌をいたしました。ありがとうございました。



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	4/23	6,000円	累計	758,200円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	4/23	2,000円	累計	189,025円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	4/23	2,000円	累計	234,000円